



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和8年10月5日 No. 22

自ら学び、共に高め合う子どもの育成

9月25日（金）、中央教育事務所指導主事 伊藤***先生、中央教育事務所由利出張所指導主事 熊谷***先生をお招きし、第1回目の授業研究会（教科等訪問）を行いました。今回は1年生と4年生が授業を提示しました。どちらの学年も、学習のゴールを子どもたちと共有することで、目的意識・相手意識が明確になり、主体的に学びや活動に取り組む姿が見られ、とてもうれしく感じました。

1年・国語科「よんでたしかめよう『うみの かくれんぼ』」は、説明的な文章を読んで重要な語や文を読み取り、分かったことを伝えられるようになることをねらいとしています。生き物の生態の面白さや不思議さ、すばらしさに出会うことのできる教材です。子どもたちは、生き物の隠れ方について読み取ったことを基に「気持ちカード」を活用してペアで対話をしたり全体の学び合いの中で「かにスーツ」を着て動作化をしたりなど、みんなで楽しく理解を深めていました。この学習のゴールは、「海の生き物かくれんぼカード」を作成して、2年生に紹介する予定です。体の特徴を生かして、どんなかくれんぼをしているのか楽しみですね。



4年・総合的な学習の時間「福祉について考えよう『みんなちがって みんないっしょ みんなでハミング♪ 幸せいっぱい社会』」は、みんなが幸せになるための工夫やそこに関わる人々の思いを探求することをねらいとしています。みんなが幸せな社会になるためには様々な事情を抱えた人の状況や、そのような人を支えるためにどんなことがされているのかを知りたい、体験してみたいという子どもの思いからスタートしています。子どもたちは、体験したことや見学したことを基に、「初めて知ったこと」「大変だと思うこと」「自分たちにできること」について一人一人が付箋に書いたものをグループで分類・整理し、思考ツール（Yチャート）にまとめ、全体の学び合いで共通点や相違点を考えていきました。全員が学びに向かって真剣にグループで対話をし、全体で共有しながら考え続ける姿は、とてもすばらしかったです。学習のゴールは、まだちょっと秘密にしておきます。



4年 校外学習

表の授業研究会につながる活動の一つとして、17日（木）、ぽぽろっこと羽後岩谷駅に行ってきました。「多くの人が利用しやすいような施設の工夫を調べ、バリアフリーへの理解を深める」ことをねらいとしています。子どもたちは、施設の見学をしたり、施設の方に質問をしたりしながら様々な工夫を感じ取っていました。学校に戻ってくると、タブレットで撮影した記録を見ながら、「初めて知ったこと」「大変だと思うこと」「自分たちにできること」の視点で自分の考えを整理していました。この体験での学びが、主体的に考え取り組む姿を支える大きな原動力となっています。



10周年記念 なかよしウォークラリー

29日（火）、10周年を記念して子どもたちがやってみたいことのひとつとして、なかよしウォークラリーを実施しました。「縦割り班で協力して課題に取り組むことで、班の交流を図ること」「6年生が企画・運営することで、全校をまとめるリーダーとしての態度を育てること」、この2つをねらいとしています。当日は、体育館、ランチルーム、図工室、玄関ホールを会場に、6年生が考え準備してくれた「おにごっこ、紙飛行機とばし、なんでもバスケット、いすとりゲーム、輪投げ、新聞じゃんけん」の活動を、なかよし班のみんなで楽しみました。そして、何と下川大内保育園の年長児がちょうどお便りを持って小学校に来てくれたので、飛び入り参加で一緒になかよしウォークラリーを楽しみました。ワクワク笑顔いっぱい楽しんでいる子どもたちの姿に、とってもうれしくなりました。6年生のみなさんのおかげです。ありがとう！

